

ICUS

体験あります

# 沼田研究室

## 〔日本版の災害対応トレーニングセンターを考える〕

生産技術研究所 都市基盤安全工学国際研究センター

International Center for Urban Safety Engineering, ICUS

社会基盤学専攻  
情報学環

防災プロセス工学

<http://www.numa.iis.u-tokyo.ac.jp/top.html>

### 災害対応の現状

いつ、誰が、どこで、何をやっているのか？



Headquarter in Mashiki town during the 2016 Kumamoto

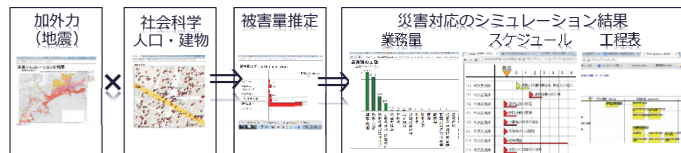
益城町の災害対策本部 Photo by Numada

災害対応の全体工程を設計し、運営できる人材が不足

### 災害対応支援システムBOSSの開発

災害対応工程 × 情報 × 機能配置 ⇒ 効果的な災害対応

#### 災害対応工程の定義：スケジューリングの最適化



#### 情報管理：最適な意思決定

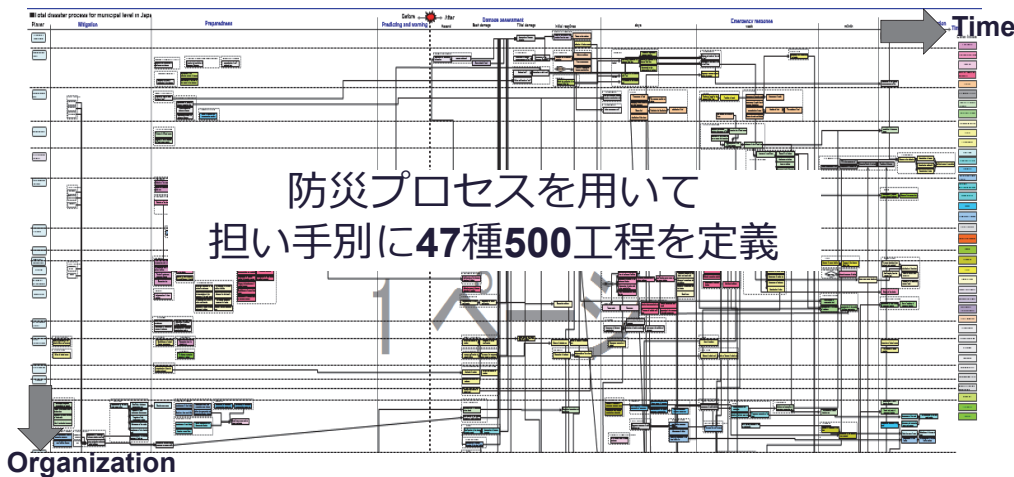
- 情報項目とプロセスの関係定義：ハザード情報、被害情報、対応情報
- 情報収集システム：避難所情報共有システムCOCOA
- 情報収集端末：タブレット端末、PC、モニター

#### 機能配置：最適機能配置

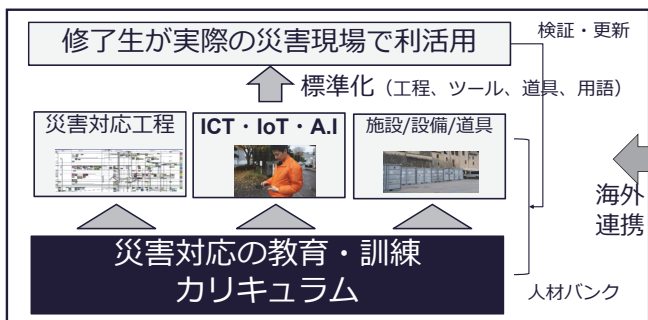
- 避難場所
- ボランティア活動拠点
- 自衛隊の活動拠点
- 物資拠点
- 遺体安置所
- 瓦縁置き場
- 仮設住宅の建設用地
- 災害公営住宅の建設用地
- 道路との連成解析

### BOSSの特徴：災害対応工程の標準化

47 kinds of disaster responses



### 災害対応トレーニングセンターの構想



#### Mission

体系的な教育と実践的な訓練を提供することで、被害の抑止・軽減に貢献し、人の生命を教育

#### Purpose

- (1) 災害対応のプロセスを設計できるようになる
- (2) 災害対応ができるという自信を持つ

「プロセスを設計できる力」とは、災害対応の基本工程を描いた上で、先を見通し戦略的な対応力（先見性と戦略性）と状況変化への対応力（多様性と柔軟性）を併せ持つものである。参考：第5期科学技術基本計画の基本方針

#### Program

災害対応を「知り」「設計し」「自信を持つ」

本研究は、東京大学生産技術研究所 生産技術奨励会からご支援を頂いております。

